

はじめに

「本冊子の中には大切なものが詰まっている」

いよいよ本平成25年度から年次進行で新しい学習指導要領が実施されます。全国商業高等学校長協会では、これまで平成21年5月に「新高等学校学習指導要領の実施に向けて 一教科「商業」に関する一問一答集」、平成21年10月には「新学習指導要領に基づく教育課程の編成例一」平成22年5月には「新学習指導要領に基づく教育課程編成上の諸課題」平成24年5月には「新高等学校学習指導要領の趣旨を生かした商業教育の推進 そのⅠ 一魅力ある商業教育の発展を目指して一」と題して提案させていただきました。

このたび、さらに、「思考力・判断力・表現力等を伸ばす商業教育の推進 そのⅠ 一商業教育の質の向上を目指して一」と題して提案させていただきます。なお、平成25年度は、巳年です。蛇は商売繁盛のシンボルです。昨年度以上に商業高校の活性化が図れればと思っています。

本冊子は、全国の校長先生方の英知の結集でもあります。本冊子の中から一例を挙げれば、「生きた教材」として、各企業からの情報（財務諸表や経営理念、実際の広告、Webページ等）、金融市場や為替相場など、常に変動するビジネスに関するデータを活用した授業と回答を返却してくださっています。この校長先生は、自校の先生にどのような指示や助言を与えて学校を活性化させているのだろう。生徒たちはきっと生き生きとして授業を受けているのだろうな、とか1行から学び取るべきこと、本校の教育に取り入れられることが多々あると確信しています。

さて、突然ですが、「土俵に金が落ちている」と言ったのは、初代若乃花です。また、「グラウンドに金が落ちている」と言ったのは、名将鶴岡一人監督です。商業教育対策委員会では、「商業高校の一時間一時間の授業の中には、お金どころか、人生の夢、希望、起業方法、解決策等、ありとあらゆるものが落ちている」と認識しています。しかも、つかみ放題であり、生涯にわたってもつかみきれない量です。ただし、つかみ方の量は、生徒一人ひとりの力量の付け方しだいですが。

大抵の人は、教育は学校や塾、専門学校で受けるものと思っています。しかし、学校で学ぶことには限りがあります。なおかつ、一人の教師が生徒に教えられることにはさらに限りがあります。学校の授業では、先生は、同じ内容と同じ量を生徒に教えますが、受け止める生徒は、一人ひとりによってまったく違ってきます。ある生徒は、将来グローバルな世界で活躍し、日本の未来を担う責任ある職につく人になるかもしれない。また、ある生徒は、運良く希望する世界に入り、年収1億円以上稼ぐ仕事につく人になるかもしれない。残念ながら、運悪く希望する職につけず、年収200万円未満の収入で生活する人になる生徒もいるかもしれない。断っておきますが、このような境遇にあるからといって不幸せであるとは限りません。同じ学び舎で、同じ学習内容と同じ量を学習しているのになぜ違いがでてくるのでしょうか。

終わりにになりましたが、商業高校の一時間一時間の授業の中には大切なものが詰まっている。全国の商業高校が、そのような授業をどこまでも追求する上で、本冊子に詰まっている全国の知恵を汲み取り役立てていただければ幸いです。そして、一人でも多くの生徒が、生涯にわたって自らの手で授業の中から人生の夢や希望をつかみ取れる力を付けてくれることを願っています。同時に、平成25年度から学年進行で実施される新高等学校学習指導要領に対応し、校長先生をはじめとして先生方のご協力のもと生徒のためにより良い商業教育を構築していきましょう。